

タネ科 イヌタネ属

イシミカワ (石実皮)

Persicaria perfoliata (L.) H.Gross

自生環境

河川敷、荒地地 など

原産地

日本在来

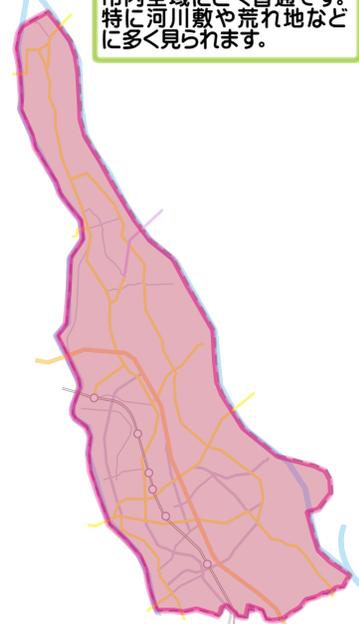
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

身近な場所にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域にごく普通です。特に河川敷や荒地地などに多く見られます。



特徴

- ☆ 河川敷や荒地地などに生え、草木の間に絡まるようにしてのびていきます。茎はやわらかくてちぎれやすいのですが、次々と枝分かれして何mにも伸び、すり落ちを防ぐための下向きの刺がたくさん生えています。
- ☆ 花はうすい緑色で小さいため、あまり目立ちません。花後、花弁は大きく膨らんでタネを包みます。タネは花弁に包まれるようにして成熟していきませんが、成熟の具合によってピンク、赤紫色、青紫色、青色と変化し、その色彩の変化は美しいものです。
- ☆ 葉柄が茎に接続する部分には、托葉という丸い葉のような部分があります。三角形の葉と丸い托葉の組み合わせが特徴的で、慣れれば花や果実がなくともすぐに特定できるようになります。

名前の由来は？

イシミカワの名前の由来は諸説あり、あまりはっきりしていません。江戸中期に薬草として利用されていて、かつての石見川村(現・大阪府河内長野市付近)のものが良質だったからとか、折れた骨を石や膠のごとくよくつなぐことから石膠(いしにかわ)だとか、言われています。他にも、果実がまるで石のようにかたいことから石実皮(いしみかわ)という説もあります。



果実は熟すと青く色づく



花は小さく緑色で目立たない



葉のつけ根にまるい托葉がある

葉は三角形



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBJegnWATWd-UZsNzCA>

